

令和 8 年度以降の福島県森林環境税の在り方に係る 森林審議会への諮問経過について

1 森林環境税制度の経緯

- 水源のかん養、県土の保全等県民福祉の向上に資する公益的機能の重要性を踏まえ、森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策をより一層推進するため、県民の理解と協力のもと平成 18 年度から 5 年を一期として森林環境税制度を導入した。
- これまで、「森林環境の適正な保全」、「森林資源の活用による持続可能な社会づくり」、「市町村が行う森林づくり等の推進」、「県民参画の推進」、「ふくしまの森林文化の継承」、「森林環境基金の運営」の 6 つの主要施策により取組を行ってきた。
- 森林環境税条例における福島県森林環境税の課税期間が令和 7 年度までとなっていることから、令和 6 年 10 月 21 日に、令和 8 年度以降の福島県森林環境税の在り方についての諮問を行った。

2 審議スケジュール

- 10 月 21 日
 - ・ 令和 8 年度以降の福島県森林環境税の在り方について（諮問）
 - ・ 現行の森林環境税制度や県民アンケート調査等の結果について（報告）
- 12 月 19 日
 - ・ 令和 8 年度以降の福島県森林環境税の在り方について（中間取りまとめ（案））
（12 月下旬から 1 か月、中間とりまとめ（案）に対するパブリックコメントを実施）
- 4 月下旬
 - ・ 令和 8 年度以降の福島県森林環境税の在り方について（答申）

3 福島県森林環境税に関する県民の意見等

（1）福島県森林環境税に関するアンケート（県民アンケート調査）

- 県内に居住する個人及び県内に所在する企業にアンケートを実施
- 調査期間：令和 6 年 7 月 18 日～令和 6 年 8 月 31 日
- 回答件数：12,874 件（うち企業 251 件）
- 「現在のまま継続して取り組むべき」との回答が 31.2%、「新たな取組を加えて継続すべき」が 40.0%、合計 71.2%が継続すべきと回答。取組内容では「水源林や里山林などでの荒廃した森林を整備する取組」を多くの県民が大切と考えており、次いで「成長した樹木の利用を進め、伐採跡地への植林を推進する取組」が多かった。

【アンケート集計結果】

- 県内森林の印象：手入れが不十分 52.8%
病虫害、クマ・シカなどの被害が目立つ 36.7%

- 令和8年度以降の取組への考え：荒廃した森林の整備 71.7%
森林資源の利用と伐採後の再造林 60.7% 市町村の取組への支援 36.2%
花粉症対策 35.0% 住宅や公共施設への木材利用 32.9%

(2) 森林づくりタウンミーティング

- 福島県森林環境税のこれまでの取組や成果を広くお知らせし、県民からの意見や提案を直接聴くために、県内8地区において実施。
- 開催期間：令和6年7月18日～8月9日
- 参加者：8地区で合計205名
- 制度継続の意見要望が複数あり、継続反対の意見はなかった。

【主な意見等】

- 福島県森林環境税制度の継続
- 間伐等の森林整備や主伐再造林、花粉症発生源対策への支援
- 福島県森林環境税の制度や事業についてより周知をすべき
- 子供から大人までの幅広い世代に対する森林環境教育等の実施や指導者の育成支援
- 森林整備を進めるための路網の整備や県産材の利用促進

(3) 市町村及び林業関係団体の意見聴取

- 調査対象：県内59市町村、森林・林業・森林づくり関係団体81団体
- 調査期間：令和6年6月25日～令和6年8月23日
- ほとんどの市町村、関係団体が「継続」と回答。4市町村及び1団体が「継続すべきでない」と回答。

【調査結果】

- 令和8年度以降の考え：継続 96.4%（うち新たな取組を加え継続 25.7%）
- 大切だと考える取組：森林環境の適正な保全 80.7%
森林資源の活用による持続可能な社会づくり 62.9%
県内市町村が行う森林づくりの推進 53.6%
- 意見：森林整備関係 20.6% 里山活用と県民参画 14.4%
制度の枠組み・継続 13.4% 情報発信など 13.4%

(4) 森林の未来を考える懇談会

- 令和6年10月8日「福島県森林環境税を活用した取組に対する意見」
(令和6年度第2回森林の未来を考える懇談会)

【主な内容】

- 福島県森林環境税の制度継続
- 6つの施策展開の継承
- 森林を森林として持続的に保全利用する施策について
- 重点的に取り組む方向性
 - ・ 山地災害防止や水源のかん養機能の増進を図る森林の整備
 - ・ 花粉の少ない苗木を活用して進める人工林の伐採・再造林の実施
 - ・ 地球温暖化防止機能の発揮を促進する森林の循環利用
 - ・ 里山林など身近な森林の整備
 - ・ 「森林づくりの提言」を踏まえた森林環境教育・学習・保全活動の推進
 - ・ 福島県森林環境基金制度等の広報活動の充実強化